

会 議 報 告

- 会 議 名 : 令和7年度 益田市学校給食共同調理場運営委員会
- 開 催 日 : 令和8年3月12日(木)
- 主 席 者 : (委員) 田原 昭久、木原 栄彦、梅田 裕二、藤本 美香、竹田 宏樹、
長戸 温美、吉田 仁美、大崎 弘康、大庭 健志、本田 行信
(事務局) 齋藤高津給食センター場長、澄川美都学校給食共同調理場長、
濱野栄養教諭、田原栄養教諭、岩田栄養教諭、三浦副主任主事

○会議内容

- (1) 委員長あいさつ
- (2) 令和7年度益田市学校給食事業報告
- ①栄養教諭等の活動について

(委員からの質問・意見)

①保育研究会と協力して幼稚園や保育園と同じ献立を学校給食でも作っていく取り組みをしていて、小学校の子どもたちが懐かしく給食を食べているようなのでありがたい。

②あゆめしの提供が無事にできて良かった。

コロナ禍の影響を受けて高津川の鮎が余っている状況で、地元の特産品を活用して鮎を給食で提供できて良かった。西益田小学校の子どもたちはあゆめしを良く食べているようだったが、他の学校の子供たちは、鮎を食べる機会が少ない影響か口に合わないと言っている子どももいたようだが、まずは鮎の味を子どもたちに知ってもらえる機会になればと思う。

②地産地消の状況について

(委員からの質問・意見)

益田市ではよくトマトや柿がとれるので、給食でもぜひ活用してもらえたらと思っている。

⇒ トマトについては、細菌が増殖する可能性があるため、生のトマトを提供するのが難しい。そこで給食では益田市の冷凍カットトマトを活用させてもらっている。冷凍カットトマトは季節問わず使えるのでとても重宝している。

柿についても、小さい給食センターだったときは柿を当日剥くことができたが、現在の給食センターの規模だと難しい。その代わりに、干し柿のヨーグルト和えを学校給食で出したことがあり、子どもたちにも好評だったのでまた出したいと思っている。

③異物混入

(委員からの質問・意見)

1月に金属の異物混入があった際、保健所の立ち入りの前に自主点検を実施していたおかげで、部品一つ一つ異物混入の危険がないか確認できた。保健所として立ち入った際、金属探知機の調子が悪かったようだが、交換等に向けて進めているか。

⇒交換に向けて前向きに検討しているところである。

(4) 令和7年度益田市学校給食に関する全体計画について

(委員からの質問・意見)

「シェフ×ますだの学校給食プロジェクト」を始め、益田市の学校給食で面白い献立が沢山提供されているので、レシピをHPだけでなく、インスタグラム等の他のSNSを通じて広報するのもいいと思う。

(5) その他

(委員からの質問・意見)

- ①自分が子どもの時に一度だけ給食でバイキング給食というのを食べてとても楽しかった思い出がある。今の給食では行っていないのか。
⇒給食センターの規模が代わり、旧益田市の給食を一つのセンターで作るようになってから、なかなか行えていない。バイキング給食は特定の学年、学校のバイキング給食向けの給食と、その他の学校の普通の給食を一日に同時に作らなければならない、人手が沢山必要なので難しい状況がある。意見としては今後の参考としたい。
- ②小学校の給食費を無償化すると聞いたが、給食の材料費が限られている中で、質が落ちるのではないかと心配な気持ちがある。保護者から給食費を少し徴収し、市からもお金を出して、潤沢な資金の中で給食を運営するということは検討しなかったのか。
⇒子育て世代の負担軽減を目的に無償化に踏み切ったところである。給食の質を落としては本末転倒だと思っているので、質を担保しつつ、保護者負担の軽減に向けて進めていきたい。